3. 中学校・高等学校について

情報活用能力が「学習の基盤となる資質・能力」に位置づけられ、言葉を使うように情報を活用して学習する力を生徒に身に付けさせることが、学校の社会的役割となってきた。情報を蓄積するだけでなく、それを活用して、より分かりやすく楽しい学習を可能にするために、ICTが利用しやすい環境整備を継続している。一昨年度、一部の教室でスタートさせた無線LAN環境を、中・高普通教室全体に拡張した。同時にタブレット端末も中・高各1クラス分を配置し、新しく多様な授業に対応できる環境を整備した。

屋内プールは利用期間が長期に取れるため、水泳学校だけでなく、機動的な体育科のカリキュラムを可能にしている。プール施設は利便性のみならず、美しく清潔な環境が重要であり、老朽化したトイレ・シャワー室の改修と、フロア・壁面の補修工事を行って、より快適な施設利用が可能になった。